資料2－1

兵庫支部戦略的保険者機能に関する現状と課題について

兵庫支部戦略的保険者機能に関する現状と課題について①

医療費

	年度	1人当たり医療費（年齢調整後）	順位（高い順）
総計	R3	194,556円	10位
	R4	208,471円	13位
	R5	211,969円	14位
入院	R3	52,866円	25位
	R4	54,176円	26位
	R5	55,485円	26位
入院外	R3	118,124円	3位
	R4	129,892円	7位
	R5	131,644円	8位
歯科	R3	23,565円	4位
	R4	24,403円	3位
	R5	24,841円	4位

健診受診率・保健指導実施率・宣言事業所数

	年度	受診率	順位（高い順）
生活習慣病予防健診	R3	54.9%	27位
	R4	57.5%	28位
	R5	58.0%	29位
事業者健診データ取得率	R3	8.2%	29位
	R4	8.8%	28位
	R5	7.0%	30位
特定健診受診率	R3	24.0%	39位
	R4	27.6%	30位
	R5	27.4%	30位
特定保健指導実施率	R3	14.7%	39位
	R4	15.6%	36位
	R5	15.4%	41位
コラボヘルス宣言事業所数	R3	1,167	22位
	R4	1,354	21位
	R5	1,555	21位

兵庫支部戦略的保険者機能に関する現状と課題について②

業態別１人当たり医療費の地域差指数－１の寄与度

13機械器具製造業の寄与度		
年度	入院	外来
R3	0.015	0.017
R4	0.021	0.017
R5	0.019	0.016

業態別における特徴

・入院、外来ともに機械器具製造業で高くなっている。
→機械器具製造業以外にも高い業態をターゲットに、
業態別でのアプローチ（業態別事例集の作成）を６年度に実施

健康宣言事業所への参画勧奨

■業態別事例集の送付

①R6.2業態別事例集送付・R6.7勧奨文書送付
・13機械器具製造業
　1,682事業所　宣言数19件（エントリー数27件）宣言率1.1％
・34社会保険・社会福祉・介護事業
　3,636事業所　宣言数33件（エントリー数45件）宣言率0.9％

②R6.7業態別事例集送付・R6.8～9電話勧奨
・３総合工事業
　1,991事業所　宣言数3件（エントリー数10件）宣言率0.15％

③R6.9業態別事例集送付
・12金属工業　エントリー数11件
　895事業所
・17道路貨物運送業
　1,163事業所　エントリー数14件

医療費の寄与度が高い業態へ事例集を作成し送付及び勧奨を実施したが、宣言率が低い結果となっているため、今後は、個別対応を実施する等、引き続き宣言事業所数の増加に取り組む

兵庫支部戦略的保険者機能に関する現状と課題について③

診療時間外受診の加入者１人当たり算定回数の地域差指数－１

年度	初診	順位	再診	順位
R3	0.094	10位	0.290	8位
R4	0.080	10位	0.300	8位
R5	0.080	9位	0.318	8位

・全国の中でも診療時間外受診が多い傾向にある

時間外受診に関する周知・広報の強化

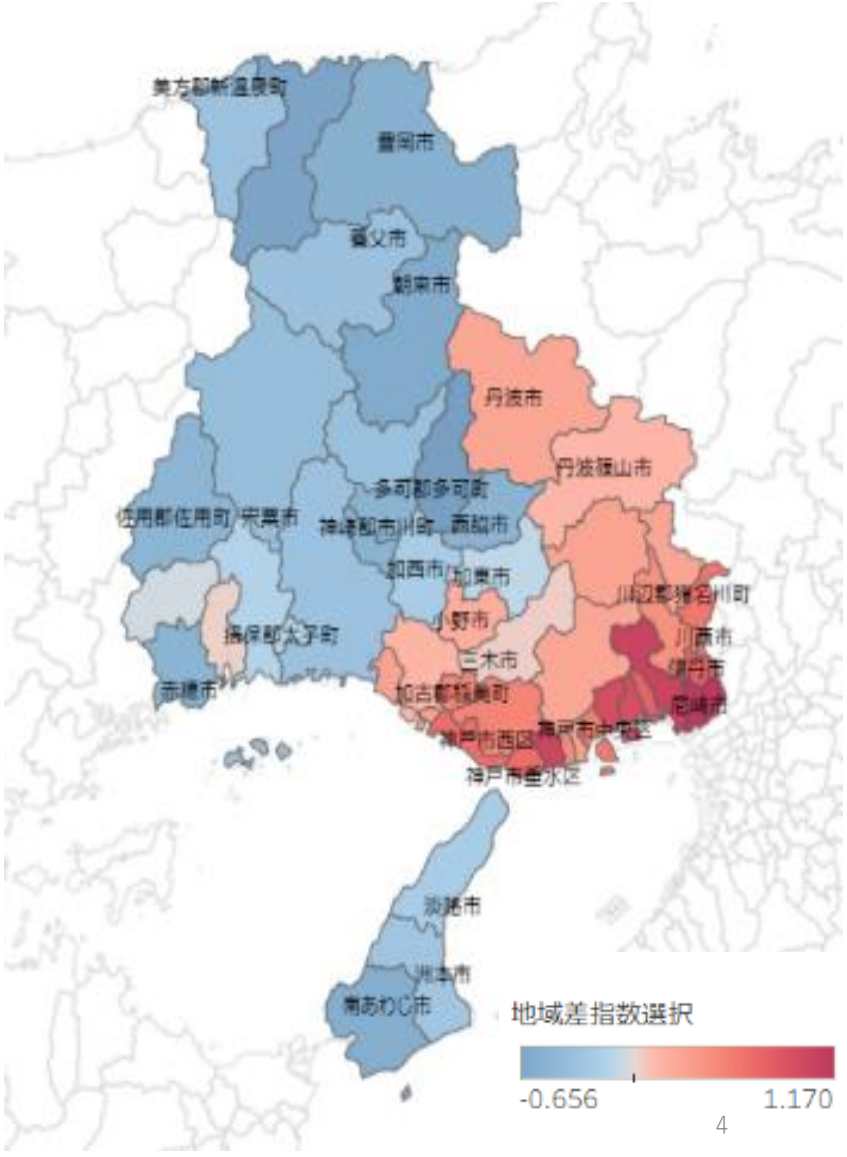
●WEB広報の実施の拡大

時間外受診に関する動画視聴期間を前年から期間を延ばし、10月から3月まで広告配信を行う。

前年のYouTube等に加え新たにLINEを活用し、年齢や配信エリアを指定することが可能。時間外受診が多い地域・年齢層を抽出し、その地域や年齢層をターゲットとして重点的に配信予定。

ターゲット層の設定

時間外受診（再診）の地域差指数（2022年度）



兵庫支部戦略的保険者機能に関する現状と課題について④

健診結果及び問診結果

年度	睡眠で休養が取れていない者の割合	順位
R3	**38.2%**	10位
R4	**39.1%**	9位
R5	**40.2%**	9位

健診結果及び問診結果おける特徴

・「睡眠で休養が取れていない者の割合」が高い傾向にある

睡眠に関する情報提供（広報）の強化

●睡眠コラムの講演会の実施及びYouTube配信

前年は、神戸大学大学院 人間発達環境学科 古谷先生による睡眠に関するコラムを、メールマガジン（登録者数約7,400名）で配信を実施した。

6年度は健康経営に関する講演で睡眠をテーマに講演を実施し、その様子をYouTubeで配信している。（視聴回数1,957件）

その他の特徴

疾病分類別１人当たり医療費の地域差指数－１の寄与度

年度	新生物〈外来〉の寄与度
R3	0.007
R4	0.006
R5	0.006

・外来医療費において「新生物」が高い傾向にある

業態別血圧、脂質、代謝のリスク保有率の地域差指数－１の寄与度

13機械器具製造業の寄与度			
年度	血圧	脂質	代謝
R3	0.024	0.024	0.020
R4	0.025	0.025	0.022
R5	0.025	0.025	0.024

・血圧、脂質、血糖のリスク保有率が機械器具製造業で高い傾向にある

兵庫支部戦略的保険者機能に関する現状と課題について⑤

業態別１人当たり医療費の地域差指数－１の寄与度

R4年度		業態別疾病別寄与度		
業態		新生物（入院）	新生物（外来）	内分泌、栄養及び代謝疾患（外来）
03建設業	03 総合工事業	0.081	0.036	0.047
	04 職別工事業	0.020	0.019	0.025
	05 設備工事業	0.033	0.026	0.0.34

R4年度		業態別疾病別寄与度	
業態		内分泌、栄養及び代謝疾患（外来）	精神及び行動の障害（外来）
15医療福祉	34 社会保険・社会福祉・介護事業	0.126	0.040

・03建設業で入院、外来共に「新生物」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」の寄与度が高い傾向にある
・34 社会保険・社会福祉・介護事業で「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「精神及び行動の障害」の寄与度が高い傾向にある

市区町村別地域差（健診情報）

・地域によって運動量の差がみられる
→人口の多い自治体の方が運動量が多い傾向にある

【二次医療圏】診療種別疾病別寄与度（外来）

R４年度	【二次医療圏】診療種別疾病別寄与度（外来）				
	07眼及び附属器	11消化器系	12皮膚及び皮下組織	14腎尿路生殖器系	歯科
神戸	0.122	0.104	0.160	0.195	0.230
阪神	0.078	0.123	0.097	0.090	0.331

※神戸：神戸市

※阪神：尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡猪名川町

→二次医療圏で疾病毎にみると、医療圏毎で寄与度に差があることから、各自治体と連携した健康づくりを積極的に進める必要がある

第6期保険者機能強化アクションプランのコンセプト

第6期保険者機能強化アクションプランの位置づけ

➢ 第6期保険者機能強化アクションプラン（2024年度～2026年度）については、加入者の健康度の向上及び医療費の適正化を目指して、第5期に引き続き本部機能や本部・支部間の連携の強化を図りつつ、

①基盤的保険者機能の盤石化：業務品質の向上、業務改革の実践及びICT化の推進による一層の業務効率化

②戦略的保険者機能の一層の発揮：データ分析を通じて得られたエビデンスに基づき、「顔の見える地域ネットワーク」を活用した連携・協力による事業展開の充実・強化

③保険者機能強化を支える組織・運営体制等の整備：新たな業務のあり方を踏まえた適正な人員配置、内部統制・リスク管理の強化及びシステムの安定運用、統一的・戦略的な本部・支部広報の実施

を通じて、協会の財政状況を念頭に置きつつ、協会に期待されている保険者としての役割の最大限の発揮に向けて、将来にわたる礎を築くことを目指す。

第６期の事業運営の３つの柱

基盤的保険者機能の盤石化

○ 協会は、保険者として健全な財政運営を行うとともに、協会や医療保険制度に対する信頼の維持・向上を図るという基本的な役割を果たす必要がある。

○ 基盤的保険者機能の盤石化に向け、業務改革の実践（標準化・効率化・簡素化の徹底、生産性の向上、職員の意識改革の促進）による、加入者サービスの向上や医療費の適正化の促進、ICT化の推進による加入者の利便性向上を図る。

戦略的保険者機能の一層の発揮

○ 加入者の健康度の向上、医療の質や効率性の向上及び医療費等の適正化を推進するためには、戦略的保険者機能を一層発揮することが必要である。

○ このため、①データ分析に基づく課題抽出、課題解決に向けた事業企画・実施・検証を行うこと、②分析成果を最大限活かすため、支部幹部職員が関係団体と定期的な意見交換等を行うことにより「顔の見える地域ネットワーク」を重層的に構築し、当該ネットワークを活用しながら地域・職域における健康づくり等の取組や医療保険制度に係る広報・意見発信に取り組む。

保険者機能の強化を支える組織・運営体制等の整備

○ 保険者機能の更なる強化・発揮のため、人材育成、人事制度の適正運用、システム運用による業務効率化等を踏まえた人員の最適配分等を通じて、協会全体の組織基盤の整備・強化を図るとともに、内部統制・リスク管理を強化し、協会業務の適正さを確保する。

○ システムについて、安定稼働を行いつつ、制度改正等に係る適切な対応や、中長期の業務を見据えた対応の実現を図る。

○ 「広報基本方針」及び「広報計画」の策定を通じて、統一的・計画的な協会広報を実施する。